

地理歴史・公民科

教科名	公民科	科目名	基礎社会
科目の目標	協同学習を通じ、社会の変化に伴う様々な現代の諸課題に対する関心を持ち、その解決方法を積極的に主体的に追求しようとする姿勢を養うとともに、他者の意見等を通じて多面的・多角的に考え、公正に判断し、その内容を的確にまとめ・表現する力を育成する。		
履修学年	2年	類型	文系
単位数	1単位	履修形態	必修

【評価の観点】

- (1) 現代の諸課題に対する課題解決方法追求に対する関心・意欲・態度
現代社会の諸課題に関心を持ち、その解決方法について積極的に主体的に追求しようとする。
- (2) 現代の諸課題に対する多面的・多角的な思考力・判断力・表現力
個人の学習、協同学習によって他者の意見をふまえて、思考し、判断し、論述したり、討論することができる。
- (3) 現代の諸課題に対する情報の活用技能・表現
諸資料を有効に活用して、思考し判断するための材料として用いることができる。
- (4) 現代の諸課題についての知識・理解
現代の諸課題について考察し表現するために必要な基礎的な知識や歴史的・文化的背景について理解している。

【1つのテーマにおける活動サイクル】

- (1) 教師の活動…講義:教師の指導による、課題に関する基礎的な知識や考え方に関する解説による課題認識。
- (2) 個人の活動…資料等を用いて課題に対する自己の見解を持ち、課題解決のための方法を思考する。
- (3) 協同学習1…同じ方向性から思考した個人活動によって得た解決方法の共有。
- (4) 協同学習2…他の方向性から思考した解決方法を持ち寄り、多面的・多角的解決方法の共有。
- (5) 協同学習3…協同学習2で得られた内容をまとめて発表し、相互発表を行い、多面的・多角的解決方法の共有と評価。
- (6) レポートの作成…学習内容を整理し、自分の言葉で表現する。

【年間計画】

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など
4 5 6 7 8 9		教科オリエンテーション(協同学習の意味と効果) 1 人間と社会における政治の意義と役割 政治を行うことの重要性・必要性とは 2 人間と社会における法の意義と役割 憲法・法が社会の中で果たす役割とは 3 人間と社会の関わり方 人間の存在を考える	・現代社会における特質や社会的課題を認識し、現状について理解している。 【知識・理解】 ・現代社会における社会的課題の解決方法について、学習した知識を基にして考察することができる。 【思考・判断】 ・現代社会における社会的課題の認識のために、効果的に資料を活用し、客観的データを基に課題の提示を行うことができる。 【資料活用の技能・表現】 ・現代社会における社会的課題を学習した内容から、どのように解決すべきか、自己の在り方生き方と連動させながら、関心を深めることができる。【関心・意欲・態度】
前期期末考査			
9 10 11 12 1 2		4 人間と社会における経済の意義と役割 経済活動の意味を考える 5 人間と社会における経営の意義と役割 企業活動の意味を考える 6 国際社会の諸課題に照らし合わせて SDGsをどのように考えるべきか？	・国際社会における課題や先哲の生き方あり方を認識し、現状について理解している。 【知識・理解】 ・国際社会における課題の解決方法について、学習した知識や先哲の生き方あり方を基にして考察することができる。 【思考・判断】 ・国際社会における社会的課題の認識のために、効果的に資料を活用し、客観的データを基に課題の提示を行うことができる。 【資料活用の技能・表現】
後期期末考査			
3		3年生での学習へ向けて	・国際社会における社会的課題を学習した内容から、どのように解決すべきか、自己の在り方生き方と連動させながら、関心を深めることができる。【関心・意欲・態度】